

平成23年行政事業レビューシート（外務省）									
事業名	在サハリン韓国人帰還問題関係経費			担当部署	アジア大洋州局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成元年度			担当課室	北東アジア課			課長 小野 啓一	
会計区分	一般会計			施策名	I-1 アジア大洋州地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第二項及び第三項 外務省組織令第40条			関係する計画、通知等	在サハリン韓国人支援共同事業体協定書(平成元年) 総理談話(平成22年8月)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	在サハリン韓国人支援事業は、昭和63年度以降予算措置を講じ、また、平成元年7月には、「在サハリン韓国人支援共同事業体」を設立して、一時帰国支援、永住帰国支援等の事業を推進してきている。本件は、これらの事業の円滑な推進と、日韓両国における同事業に対する理解と支持を深めるため、関係機関との協議及び広報啓発活動を行うもの。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	サハリンに残留する在サハリン韓国人については、従来、韓国・(旧)ソ連間に国交がなかったこともあり、韓国への自由な訪問が困難であった。かかる状況の下、その特殊な歴史的経緯を踏まえ、人道的観点から誠意を持って本問題に対応するため、1989年7月に、大韓赤十字社と日本赤十字社との間で共同事業体を設立し、在サハリン韓国人支援事業について関係機関と協議を行うことで、在サハリン韓国人の一時帰国、永住帰国等の支援を行ってきている。								
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算	0.6	0.5	0.5	0.6	0.9		
		繰越し等	-	-	-				
		計	-	-	-				
		執行額	0.6	0.5	0.5	0.6	0.9		
	執行率(%)	0.7	0.6	0.6					
116.67%	120.00%	120.00%							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	在サハリン韓国人支援事業における関係機関との協議を通じた事業の増進。 右成果実績は、支援事業対象者数。			成果実績	人	998	1,020	892	846
				達成度	%	102%	105%	102%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	出張者数			活動実績 (当初見込み)	人	3	2	4 (2)	— (2)
単位当たり コスト	149(千円/1人)			算出根拠	1人当たりの出張旅費(22年度執行額/22年度出張者)				
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	旅費	590	934	出張者数の見直しによる増					
	計	590	934						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	在サハリン韓国人問題について、これまで様々な支援事業を実施し成果を上げてきたところであるが、これらの事業について、韓国及びサハリンにおける関係機関と協議を行い、適切なニーズを把握することは、日本政府としての在サハリン韓国人問題に対する真摯な態度をアピールすることになり、事業の円滑な遂行にも資するものであるから、同水準の維持が必要であると考えられる。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

外務省
0.6百万円



出張者4名
0.6百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロックごとに最大の
金額が支出されている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	出張旅費	0.2	—	—
2	出張者B	出張旅費	0.2	—	—
3	出張者C	出張旅費	0.1	—	—
4	出張者D	出張旅費	0.1	—	—
5					
6					
7					
8					
9					
10					